

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学社融合フォーラム
事業主体 (連絡先)	学社融合フォーラム実行委員会 (小諸市与良町六丁目5番5号 電話 0267-31-0252 代表 沓掛 正一)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	393,202 円 (うち支援金: 312,000 円)

#### 事業内容

- 学社融合フォーラムの開催  
学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちが自立に向けて、やる気や生きがいを育むために、講演会や実践事例を通して学びあえる機会とした。  
期 日：平成26年11月14日(金)  
会 場：小諸市文化センター  
講 師：茨城大学 准教授 長谷川幸介氏



【長谷川氏の講演】

- 学社融合に関する事業への参画  
チラシ、報告書、感想を参照

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 前年度に比べ参加者数が12%増加した。  
社会福祉協議会など、今まで参加していなかった団体からの参加も見られた。
- ② 学社融合に関わる事業に参画し、学社融合を啓発していくことで、学社融合に関わる取組を実施する地域(学校)が出てくるようになり、現在、県教委で進めている信州型コミュニティスクール創造事業の推進につなげ始められている。

#### 【目標・ねらい】

- ① 幅広く、多くの方々に参加してもらい、学社融合の良さを周知してもらおう。
- ② 学んでもらったことを今後の実践に活かしてもらおう

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 学社融合の推進に向けて  
学社融合フォーラムだけでなく、その他の学社融合に関する事業に参画し、学社融合の啓発を推進していく。そのことで、信州型コミュニティスクール創造事業の素地となる学社連携・融合の考え方が地域・学校に広まるようにしていきたい。

#### ※自己評価【B】

- 【理由】
  - ・参加者の増加と参加する範囲の広がり。
  - ・学社融合の意義と良さについて多くの方々に啓発できた点。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある